

介護あんしん相談員だより

第６４号　　令和８年９月発行
発　行：鳥栖地区広域市町村圏組合
（介護保険課　地域支援係）
連絡先：０９４２－８１－３１１１

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。
介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見て気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。
現在１８名の相談員が活動しています。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
（令和８年６月・７月）



～利用者様の声より～



利用者：移動販売に押し車で行って、商品を見るのに見上げて疲れました。
施　設：施設に来てもらえる販売業者は、品物や販売場所などが違います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者様は移動販売での買い物のとき、「陳列された商品が高いところにあったので、上を向くのがキツかった。しかし、少し前に毎週来てもらっていた移動販売は、玄関前のスペースで、段ボールに入れた商品を並べてあって良かった。」と話されていました。

施設での買い物支援は、様々な移動販売業者に来てもらい、入所者の意見を聞きながらの買い物イベントとなっているようです。陳列などの問題もありますが、買い物は利用者様のひとつの楽しみですね。

他にも〇〇通販（24時間365日受付・FAX でカタログ注文し、2日後に届くシステム）を利用する施設もあり、入所者もカタログを見る楽しみができたそうです。

利用者：家族に迷惑をかけるからここで過ごしているけど、本当は家に帰りたい。
施　設：過ごしやすい環境作りなどを図り、安心していただけるよう努めます。

相談員が訪問し、胸にしまっておいた本音が少し言えたのでしょうか・・・。
この方だけではなく、家に帰りたいと話される方はいます。その気持ちも分かって、職員さんは利用者様との信頼関係を築き、過ごしやすい環境作りをしていただいています。違った環境に慣れていくのには、一歩一歩のようです。
他の施設で、七夕の短冊に「ずっとグループホーム●●にいたい。」と利用者様が書かれていたそうです。
これからも、利用者様に寄り添いながら、心の声を聞いていけたらと思います。

利用者：愛犬に会いたかばってん、会うたら別れが辛かけん我慢しとる。
施　設：施設としては、ペットの面会も受け入れています。

入居されて３～４日目になる方で、愛犬とは９年間一緒に暮らし、今は姉妹さんに預かってもらっているそうです。
施設としては、ペットも家族の一員として、面会を受け入れているという話でした。
相談員に気持ちを話し、相談員が施設に橋渡しをしたことで、これからは定期的に愛犬に会えるようになり、とても喜ばれそうですね。
愛犬に会うために、またお元気になられることと思います。



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：爪にネイルをされている利用者様がいらっしゃいますね。
施　設：訪問美容の無料体験で、ネイルをしてもらった利用者様です。

相談員が爪を見て「綺麗ですね。」と声かけをしたら、パッと明るい表情になられ、とても嬉しそうな顔をされました。
ネイルをしてもらっている時も、とても喜ばれていたようです。次回からは有料になるので、今後も希望があった時はご家族と相談をして、頼まれるようです。
利用者様の笑顔は、施設スタッフの笑顔にもつながりそうですね。



鳥栖広域　相談員だより　検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。